

入札公告

物品調達等及び委託役務

次のとおり、条件付一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定により公告する。

この入札公告に定めるもののほか、入札に関して必要な事項は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項及び同細則による。

令和2年9月25日

東広島市長 高垣 廣徳

1 入札に付する事項

| | |
|-----------------|---|
| (1) 物品・委託役務の名称 | 令和2年度主要水域（河川）における水生生物調査等業務 |
| (2) 物品・委託役務管理番号 | 13020040 |
| (3) 物品委託役務内容 | 東広島市の河川における水生生物の生息環境の状態や周辺環境を経年的に把握するため、河川に生息する水生生物を調査し、水生生物の水質指標性を基に水質判定を行う。 |
| (4) 納入・履行期間 | 契約締結日の翌日から令和3年2月12日まで |
| (5) 納入・履行（就業）場所 | 東広島市内一円 |
| (6) 予定価格 | 落札後公表 |
| (7) 最低制限価格 | なし |
| (8) 入札方式 | 一般競争入札 |
| (9) 入札区分 | 紙入札 |
| (10) 使用する契約約款 | 業務委託契約約款（役務の提供を受けるもの） |
| (11) 契約種別 | 総価契約 |
| (12) 収入印紙 | 要 |

2 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げる要件を全て満たしていること。

| | | |
|---|--|--|
| ア | 平成29年1月1日～平成32年12月31日までの東広島市物品役務等競争入札参加資格として次の入札参加資格認定区分の認定を受けている者 | 測定・検査>環境測定(計量証明事業)<水質・土壌> |
| イ | 法令等による登録等 | 計量法（平成4年法律第51号）第107条の規定による広島県知事の計量証明事業（濃度）の登録を受けていること。 |
| ウ | 技術者 | 問わないものとする。 |
| エ | 営業所等所在地 ※本店とは、法人にあっては登記されている本店とし、個人事業者にあっては営業活動の本拠を置いている場所とする。 ※営業所とは、法人においてその所在する市（町）の法人市（町）民税の申告のある営業所とする。 | 広島県内に本店を有する者。 |
| オ | 会社の履行実績 | 問わないものとする。 |
| カ | その他 | 令和元年8月26日付け「東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項」の2（1）のいずれにも該当しないこと。 |

3 その他の入札条件

なし

4 日程等

| 手続き等 | 期間・期日等 | 場所・留意事項 |
|---------------------------|--|---|
| ア 公告日 | 令和2年9月25日 | 東広島市ホームページに掲載及び東広島市総務部契約課（契約担当課）で閲覧に供する。 閲覧場所は「6 問い合わせ先（契約担当課）」に記載のとおり。 |
| イ 仕様書及び見本等閲覧期間 | 令和2年9月25日～ 令和2年10月15日 | 東広島市ホームページに掲載及び契約担当課で閲覧に供する。 見本等の有無：無 |
| ウ 同等品確認期間（物品の買入れ及び借入れに限る） | | 同等品で応札する場合は、同等品規格確認票（東広島市物品調達等及び委託役務競争契約入札心得（平成21年東広島市告示第83号。以下「入札心得」という。）別記様式第2号（第4条関係）により発注担当課へ持参またはファックスすること。ファックスする場合は、その旨を発注担当課へ事前に電話連絡すること。 なお、同等品確認に対する認定のない同等品での応札は認めない。同等品規格確認票の提出先は、「オ 質問書提出期間」に記載の発注担当課とする。 |
| エ 同等品確認回答閲覧期間 | | 東広島市ホームページに掲載及び発注担当課で閲覧に供する。 |
| オ 質問書提出期間 | 令和2年9月25日～ 令和2年10月2日 (午前8時30分～午後5時15分) | 質問書は、本市所定の様式（東広島市物品調達等及び委託役務競争入札心得（平成21年東広島市告示第83号）別記様式第1号（第4条関係））により発注担当課へ持参またはファックスすること。ファックスする場合は、その旨を発注担当課へ事前に電話連絡すること。 生活環境部 環境対策課（発注担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館1階） 電話番号 082-420-0928 /ファックス番号 082-421-5601 質問書提出期間終了後の質問は受け付けない。 質問書の様式は東広島市ホームページからダウンロードできる。 |
| カ 回答書閲覧期間 | 令和2年10月7日～ 令和2年10月15日 | 東広島市ホームページに掲載及び発注担当課で閲覧に供する。 |
| キ 入札期間 | 令和2年10月13日～ 令和2年10月14日 (午前9時00分～午後5時00分) | 入札場所 東広島市総務部契約課（契約担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階） 入札書は入札期間内に総務部契約課に持参して入札箱に投入すること。 初度の入札書は、入札の権限を有している者が記名押印し、使用印鑑として本市に届け出ている印鑑を押印すること。（ただし、入札書に記載した日付以前に作成された委任状の同封・提出がある場合を除く。） 特別の事由により郵便により入札書を提出しようとする者は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項細則に定めるところによるものであること。 |
| ク 開札日時 | 令和2年10月15日 午前10時30分 | 開札場所 入札室（東広島市西条栄町8番29号 本庁本館4階） 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札がないときは、開札日の翌日以降に再度の入札（1回目）を実施するものとする。再度の入札（1回目）は、開札の立ち会いの有無に関わらず初度の入札参加者全員が参加できるものとする。 再度の入札（1回目）を実施する日時、場所等の詳細は初度の入札に参加した者に対してファックスにより通知を行う。 再度の入札（1回目）の結果、予定価格の制限の範囲内での入札がなかったときは、直ちに入札会場で再度の入札（2回目）を行う。 再度の入札は、2回目まで行う。 |

5 資格要件確認資料の提出

本案件は、入札に参加する者に必要な資格を確認するために必要な資料（以下「資格要件確認資料」という。）の提出を求めない。

(1) 提出書類

| 書類の区分 | 提出書類 (○印) | 備考 |
|-----------------------|--------------|----------------------------|
| ア 入札参加資格確認申請書 | | 様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。 |
| イ 入札参加資格要件総括表 | | |
| ウ 誓約書 | | |
| エ 配置予定技術者届出書 | | |
| オ 履行実績確認表 | | |
| カ 履行実績証明書（物品・委託役務） | | |
| キ 法令等による登録等を確認するための資料 | | |
| ク その他 | | |

(2) 提出部数は、1部とし、提出した資格要件確認資料は、返却しない。

(3) 提出期限

(4) 提出先 「6 問い合わせ先（契約担当課）」のとおり。

(5) その他

入札参加者は、資格要件確認資料を指定された提出期限までに提出できるよう事前に準備しておくこと。

資格要件確認資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とする。

資格要件の審査のために必要があると認めるときは、期限を定めて資格要件確認資料の補正や追加資料の提出を求めることがある。

資格要件確認資料に虚偽の記載をした者に対しては、指名除外措置を行うことがある。

6 問い合わせ先（契約担当課）

総務部契約課 物品役務係
東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階）
電話番号 082-420-0930
ファックス番号 082-431-0077

令和2年度主要水域（河川）における水生生物調査等業務仕様書

1 業務名

令和2年度主要水域（河川）における水生生物調査等業務

2 業務目的

本業務は、東広島市の河川に生息する水生生物を調査し、水生生物の水質指標性を基に水質判定を行い、河川における水生生物の生息環境の状態や周辺環境を経年的に把握することを目的とする。

3 業務履行期間

契約締結の翌日から令和3年2月12日まで

4 業務履行場所

東広島市内一円

5 業務内容

水生生物調査業務

(ア) 調査地点

主要水域（河川）23地点

下記「表1 業務実施場所」及び別紙1「調査地点図」参照

表1 業務実施場所

| 河川名 | 地点名 | 河川名 | 地点名 |
|---------|--------|----------|--------|
| 1. 黒瀬川 | 黒瀬川下流 | 13. 造賀川 | 造賀川 |
| 2. 黒瀬川 | 和泉橋上流 | 14. 宮領川 | 宮領川 |
| 3. 黒瀬川 | 呉・黒瀬境界 | 15. 杵原川 | 杵原川 |
| 4. 竹保川 | 竹保川 | 16. 入野川 | 入野川中流2 |
| 5. 光路川 | 光路川 | 17. 椋梨川 | 椋梨川上流 |
| 6. 笹野川 | 笹野川 | 18. 沼田川 | 沼田川中流 |
| 7. 番蔵川 | 石ヶ瀬橋上流 | 19. 関川 | 関川中流1 |
| 8. 中川 | 中川 | 20. 東川 | 東川 |
| 9. 深堂川 | 深堂川 | 21. 椋坂川 | 椋坂川 |
| 10. 米満川 | 米満川上流 | 22. 瀬野川 | 瀬野川 |
| 11. 温井川 | 温井川上流 | 23. 三津大川 | 三津大川 |
| 12. 沼田川 | 沼田川上流2 | | |

※原則として過去の地点と同地点とすること。なお、河川工事等、地形の変更等により生態系の変化及び水質の状態に顕著な異変があると思われるときは発注者へ協議すること。

(イ) 調査時期・回数

令和2年11月に各地点1回

(ウ) 調査項目

底生生物・付着藻類

(エ) 調査方法

○底生生物

各地点において、1時間程度、調査範囲50m前後の調査を行う。目合い1mmの網を使用し、河川内の生物を捕獲する。捕獲した各個体は種名、個体数を記録した上で、各種標準的な個体を撮影し、記録後は川に戻す。なお、記録及び集計については、「川の生きものを調べよう（水生生物による水質判定）」（環境省水環境部・国土交通省河川局編）と日本版平均スコア法の2つを参考とすること。

○付着藻類

各地点の流れの安定した場所から、川底のこぶし大の石（各地点3個）を選択し、表面に生息する藻類を擦り取る。擦り取る範囲は5×5cmとする。汚濁指数（DAIpo）を用いた評価を行う。

6 打合せ

(1) 打合せ回数・時期

打合せについては、下表に示すとおりとする。

| 打合せ回次 | 打合せ時期 | 打合せ内容 | 備考 |
|-------|----------------------|-------------|--------------|
| 第1回 | 作業着手段階（10月下旬（契約締結後）） | 水生生物調査計画 | 対面打合せを基本とする。 |
| 第2回 | 中間段階（11月中旬ごろ） | 水生生物調査進行度確認 | 電話打合せ可とする。 |
| 第3回 | 取りまとめ段階（12月ごろ） | 水生生物調査結果 | 電話打合せ可とする。 |

※原則上記のとおりとするが、この他に協議の必要がある場合はこの限りではない。

(2) 貸与資料

必要に応じ、第1回打合せの際に過年度報告書（地図等を含む）を貸与することとする。

7 資格要件

以下のいずれかの資格を有する者が業務に従事すること。

- ・生物分類技能検定 2級 動物部門
- ・生物分類技能検定 2級 水圏生物部門

8 成果品

(1) 報告書

報告書 2部

調査結果の取りまとめ及び考察（指標生物を用いた水質判定・水生生物相、河川環境改善に向けた簡単な提案等）を基本事項とする。内容は下記3点（①～③）含めたものとする。

ア 「川の生きものを調べよう（水生生物による水質判定）」（環境省水環境部・国土交通省河川局編）

① 指標生物の東広島市水質汚濁地図

（年次報告書「東広島市の環境」に掲載予定、A3、別紙2「東広島市水質汚濁地図例」を参照し、次に掲げる事項について必ず明記すること。『各河川において、水質階級を断定する根拠とした生物について。』）

② 地点別指標生物の調査結果集計表

（1調査地点につきA4用紙1枚程度、別紙3「調査結果集計表例」を参照し、次に掲げる事項について必ず明記すること。『底生生物・付着藻類それぞれにおいて最も多く確認されたもの、その結果どの水質階級であると判断したか。』）

イ 日本版平均スコア法

③ 日本版平均スコア法の野帳

（1調査地点につきA4用紙2枚程度、別紙4「日本版平均スコア法の野帳」参照し、指定されている事項について明記すること。）

(2) データ集

上記報告書の電子データ（CD-R） 1部

9 その他

- (1) 受注者は業務の実施に当たっては、法令等を遵守し、事故の防止と安全確保のための必要な措置を講じること。
- (2) 業務の実施に当たっては、交通の妨害となる行為、又は公衆に迷惑をおよぼす行為がないよう、交通及び保安上十分な注意を図ること。
- (3) 業務の実施に当たって、万一事故が発生したときは、迅速かつ的確な処理を講じたうえで、速やかに発注者に報告すること。
- (4) その他、この業務仕様書に定めなき事項または業務の実施にあたって疑義が生じた場合は、発注者と協議の上実施すること。
- (5) 本業務の委託料は、業務完了後一括払いとする。

10 問い合わせ先（発注担当課）

東広島市生活環境部環境対策課環境管理係

電話（082）420-0928（直通）

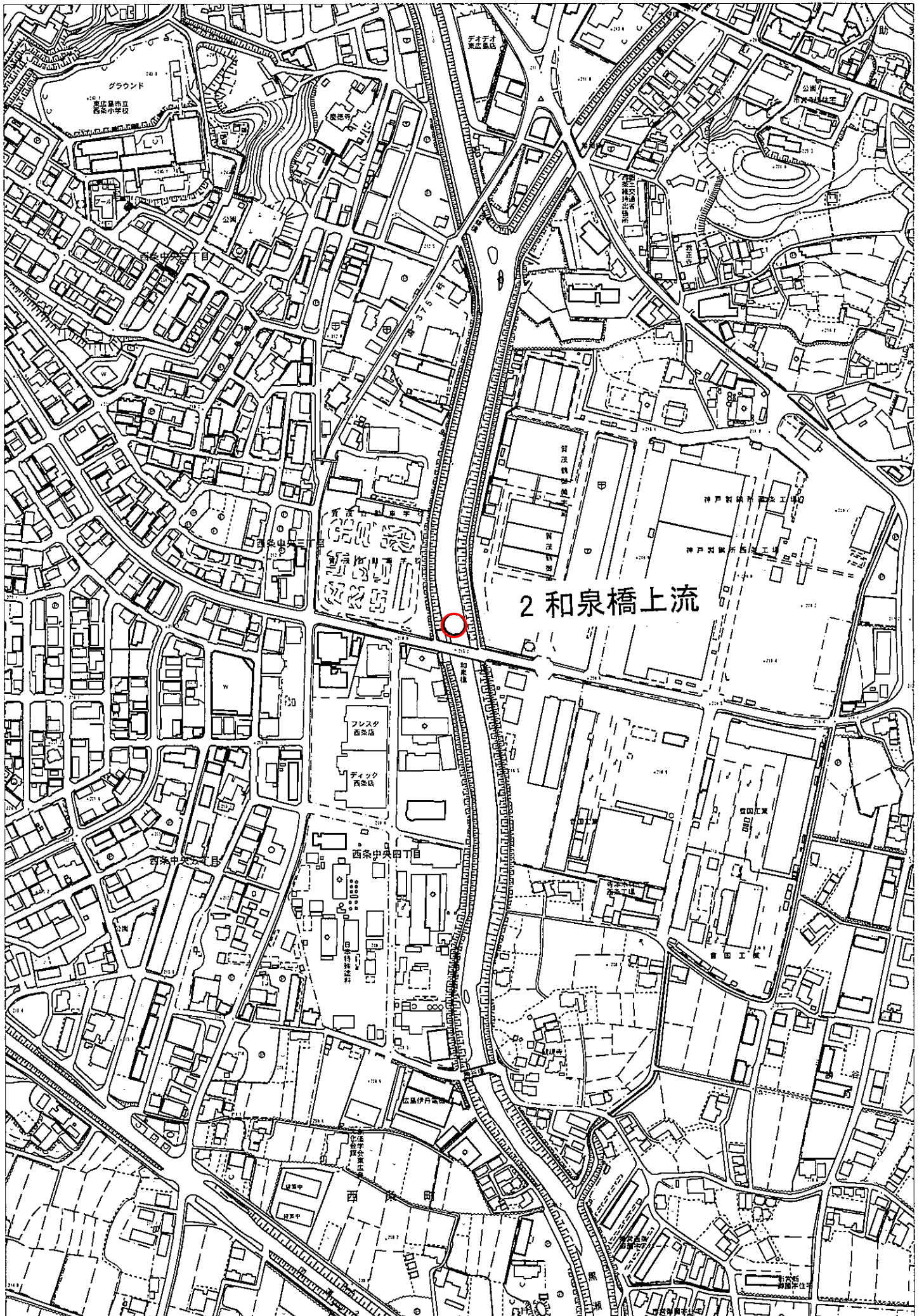
ファックス（082）421-5601

別紙 1 調査地点図



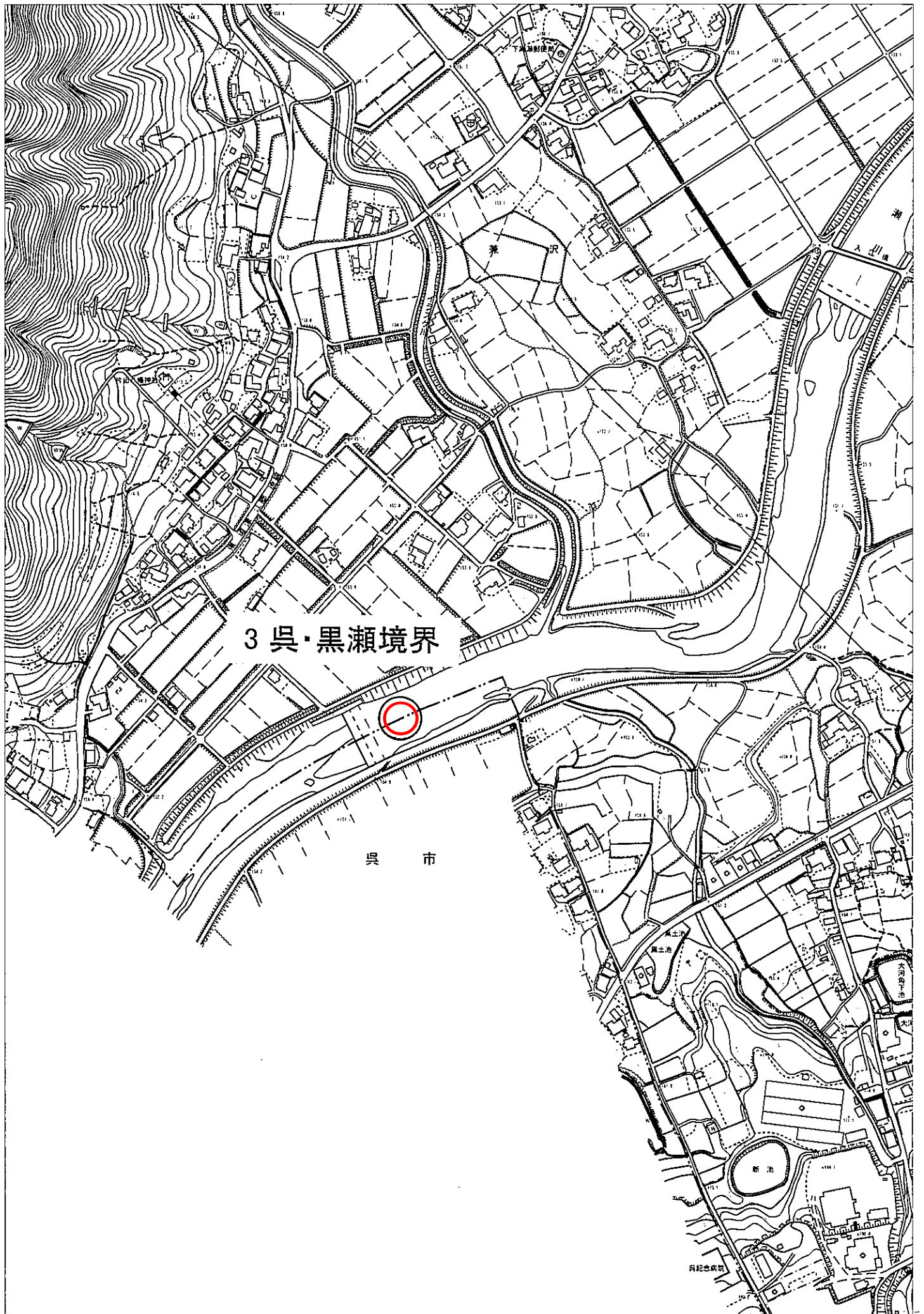
1 黒瀬川下流

注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



2 和泉橋上流

注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



3 呉・黒瀬境界

市

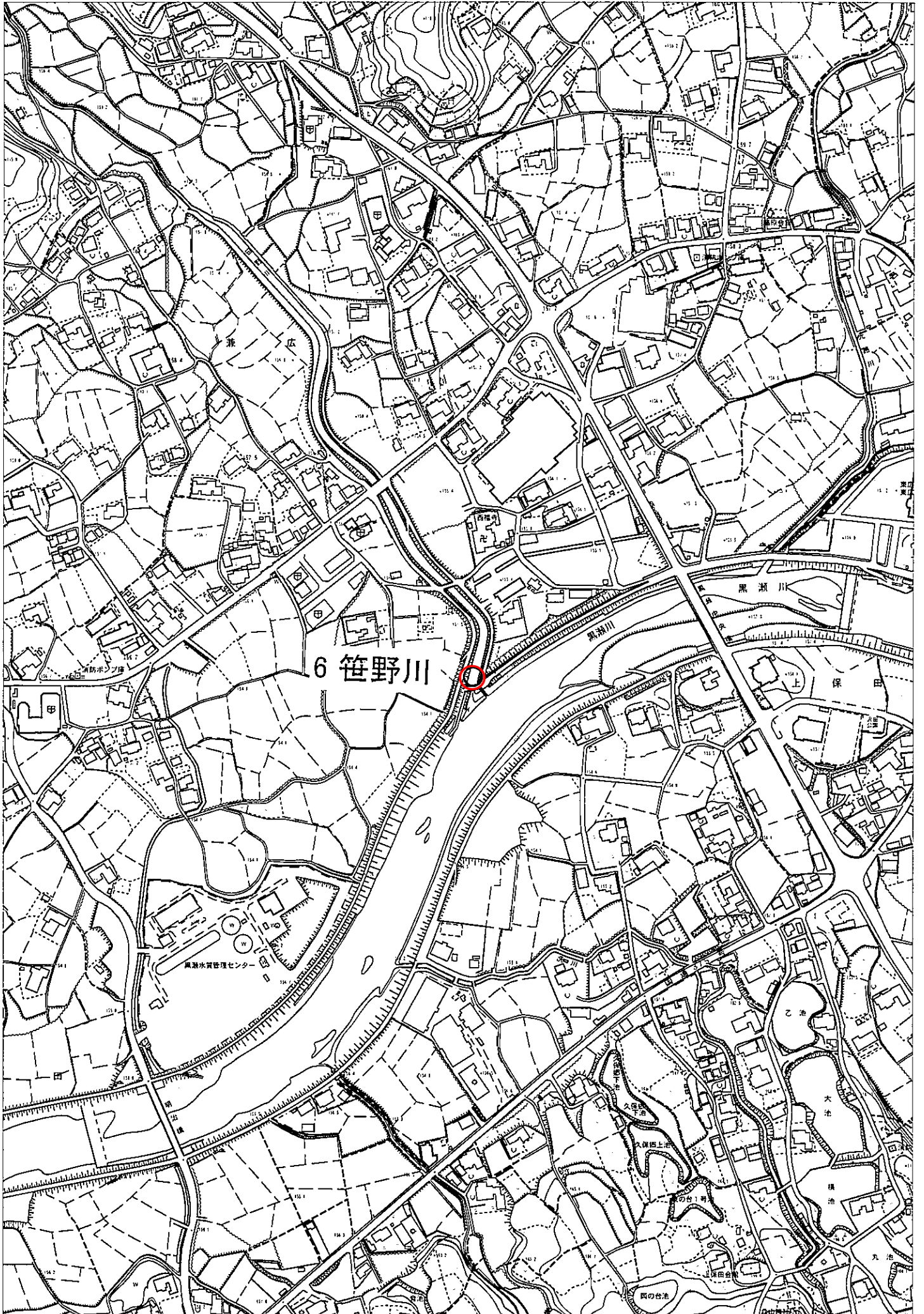
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



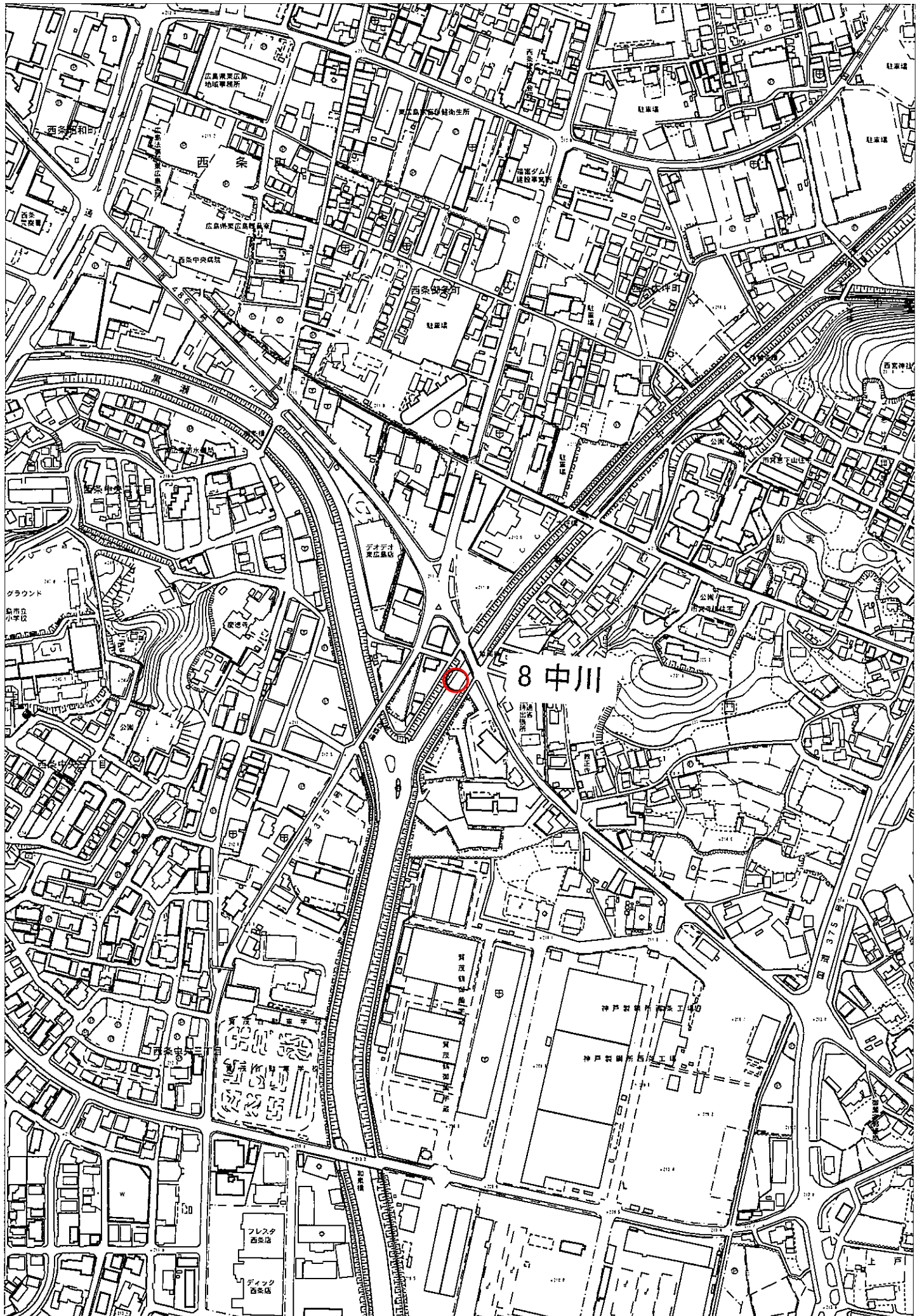
注:この図は単なる画像です。取り扱いは十分注意して下さい。



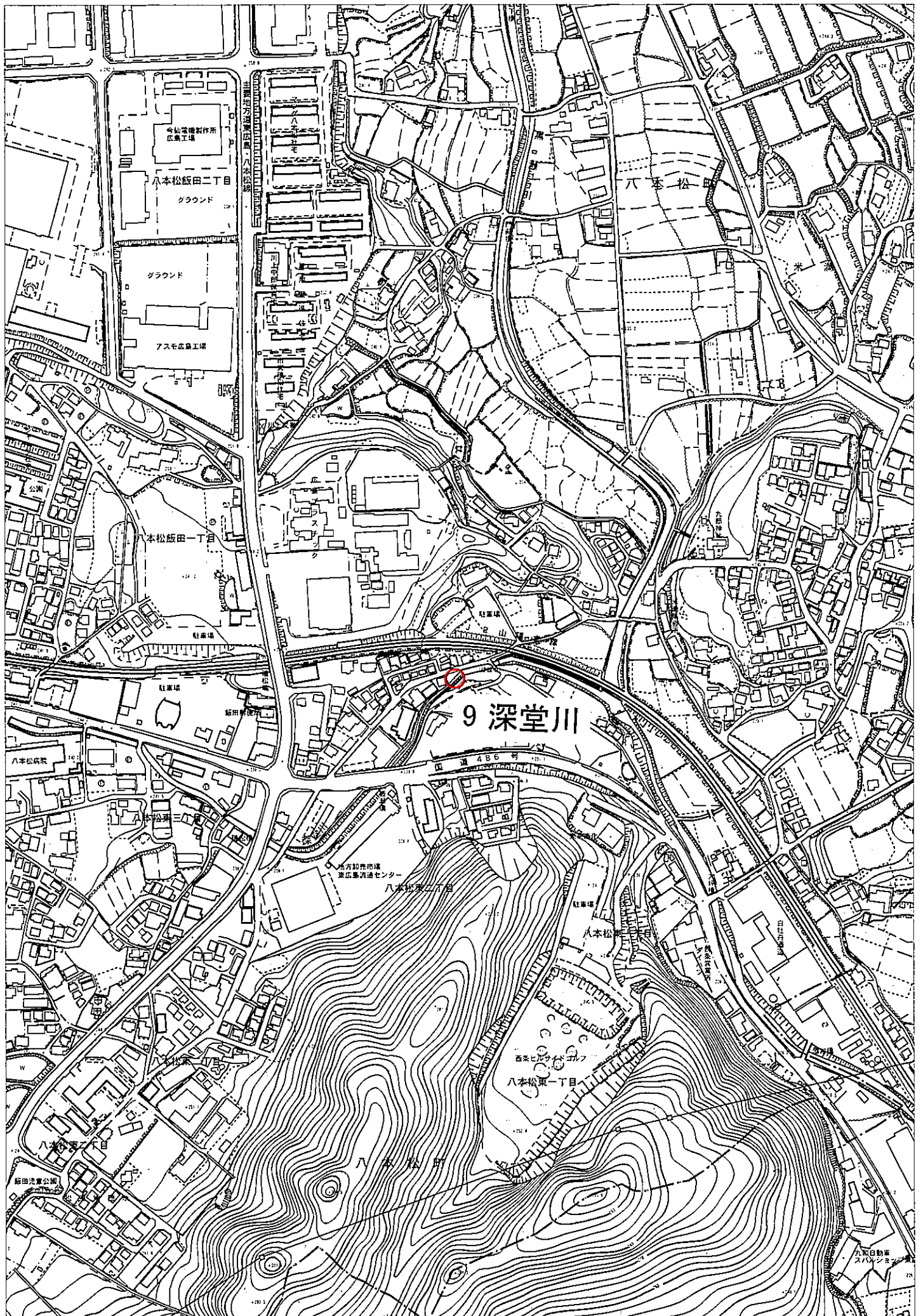
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。

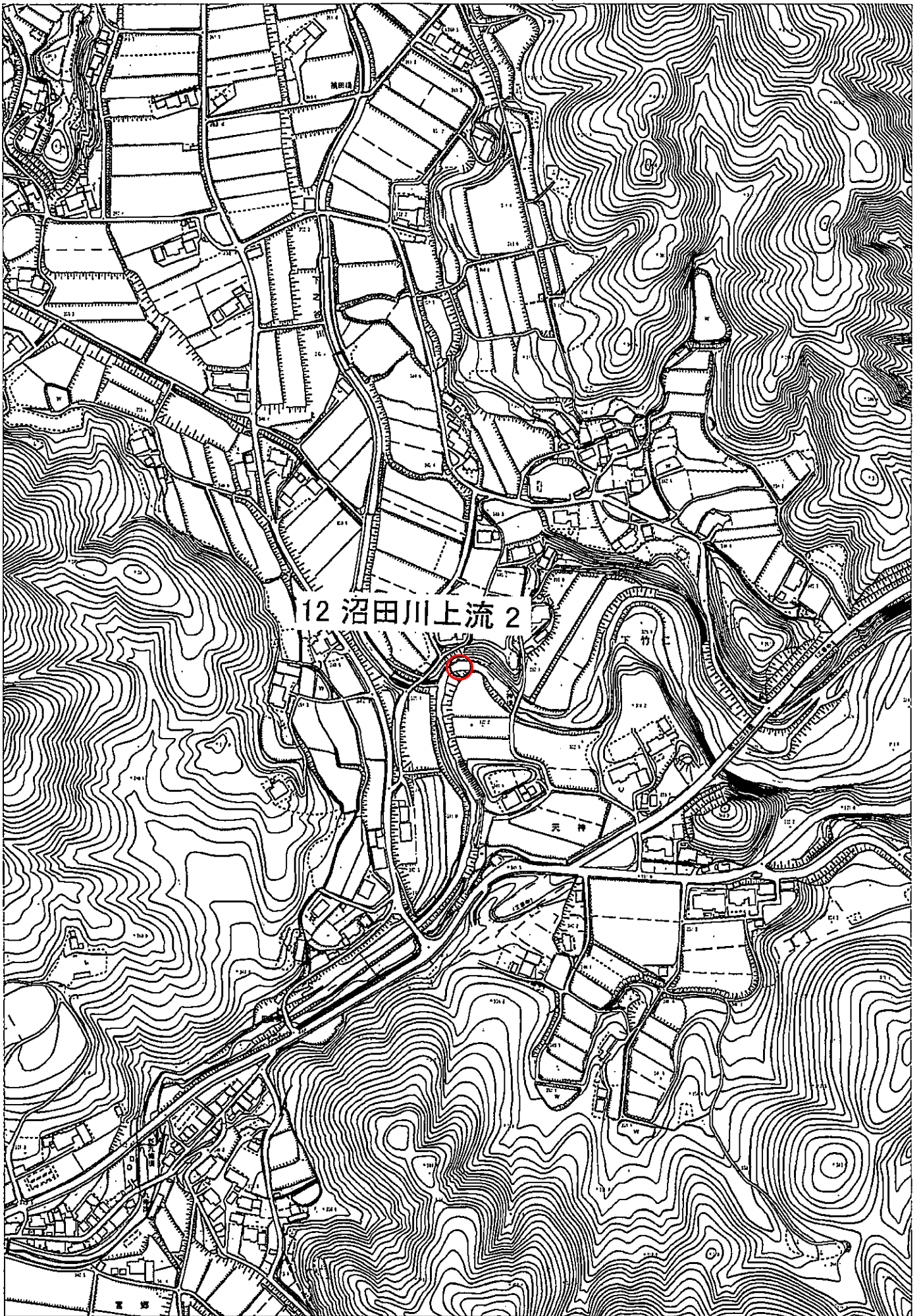


注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。

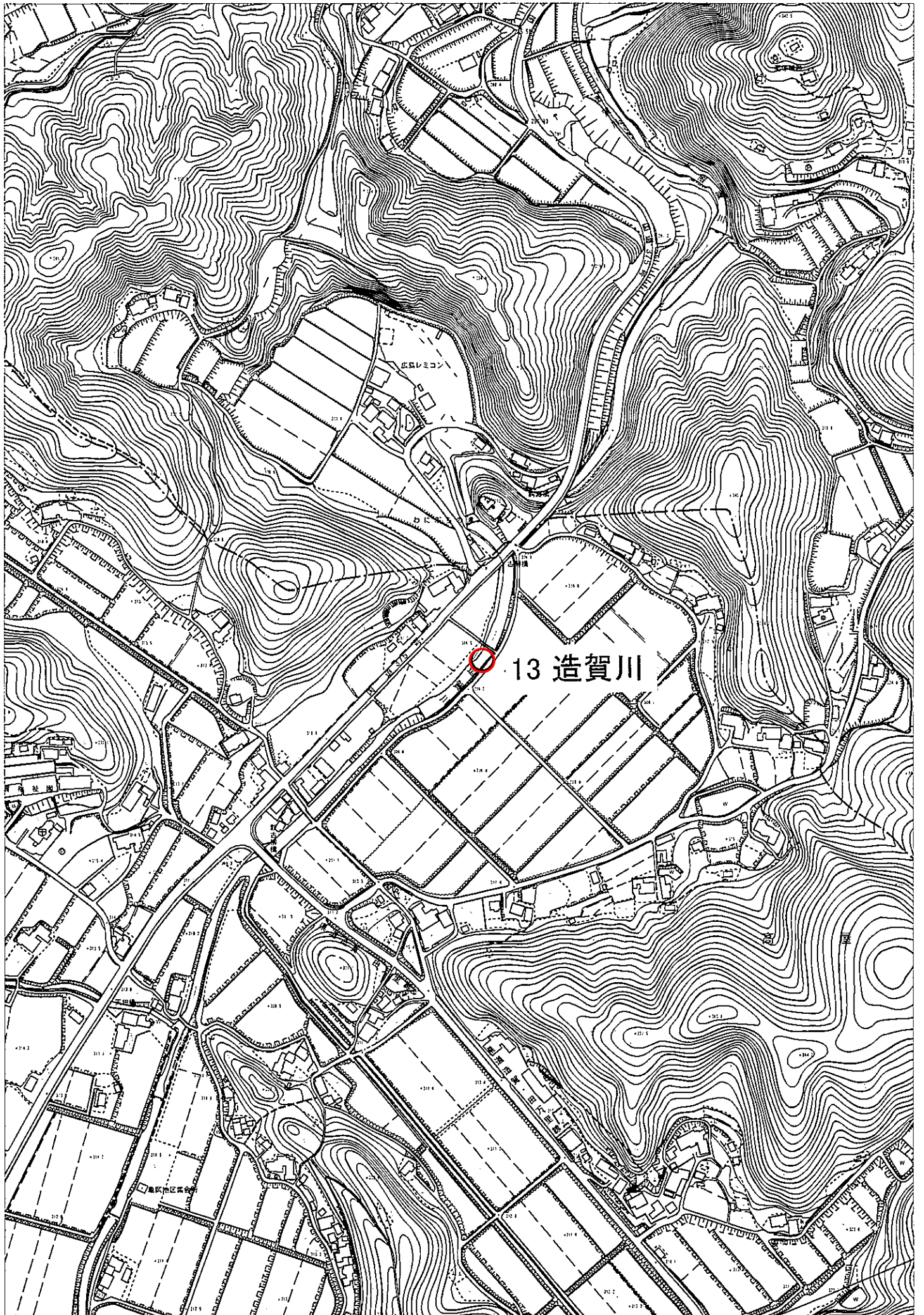
11 温井川上流



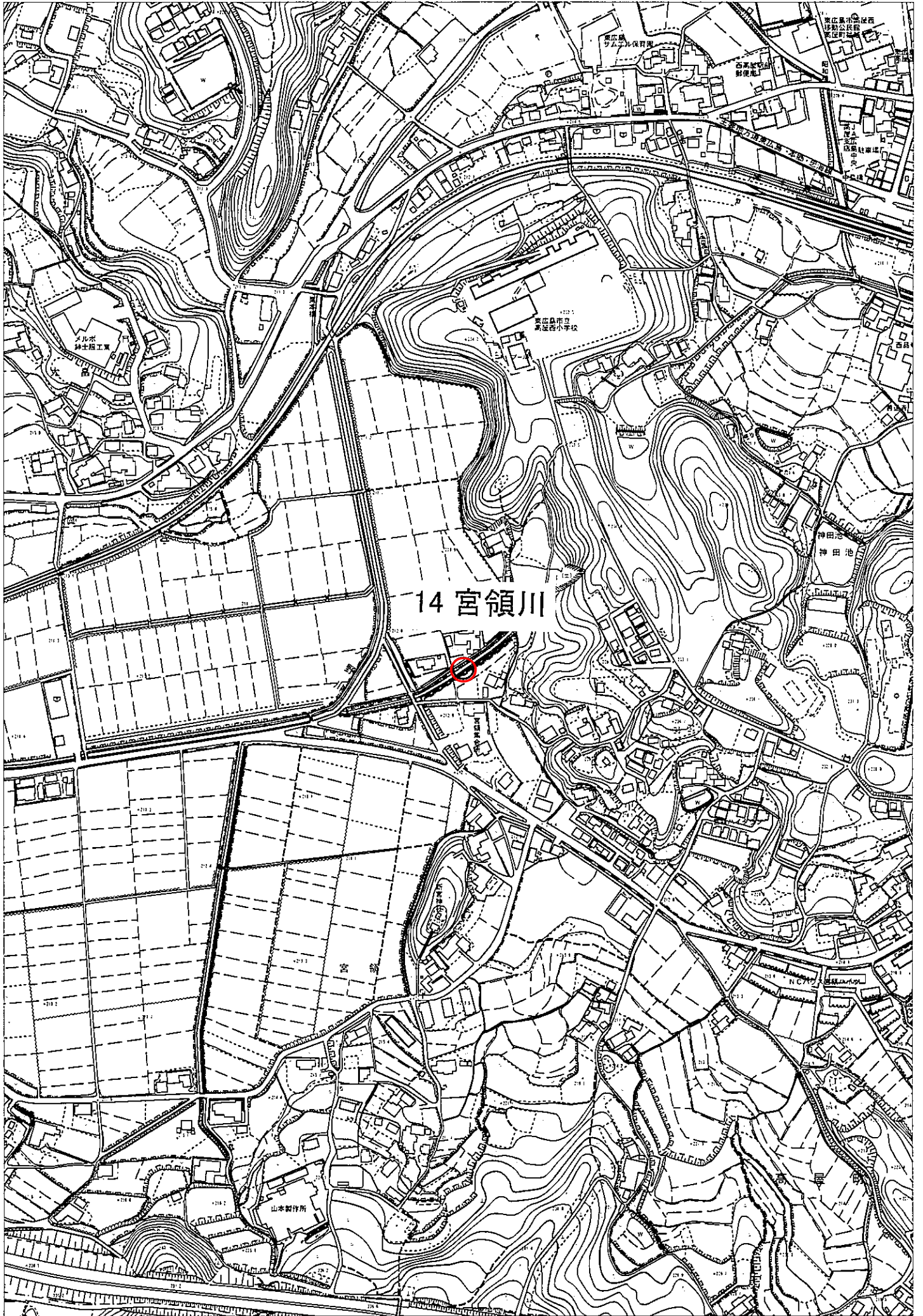
注:この図は単なる画像です。取り扱いは十分注意して下さい。



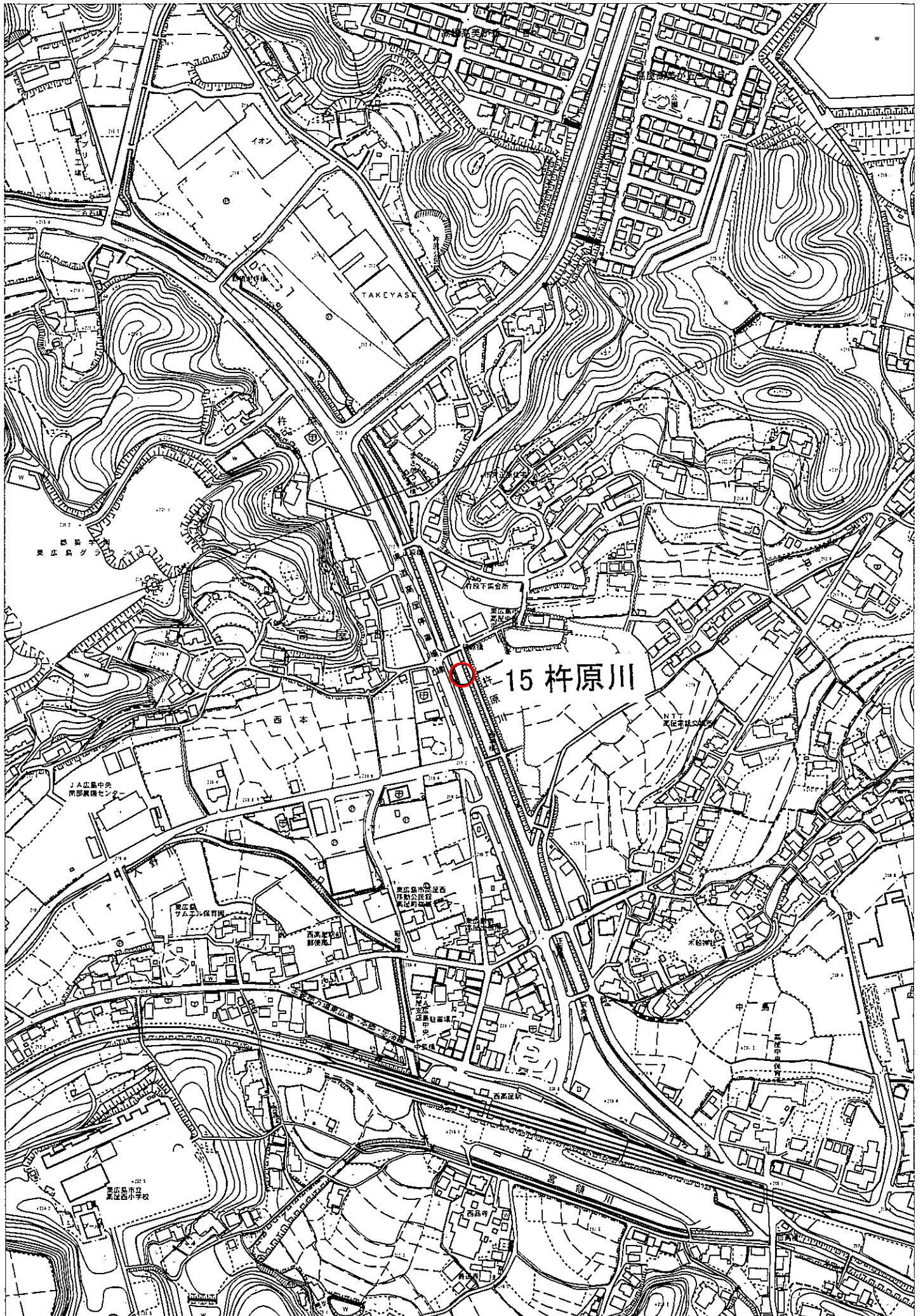
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



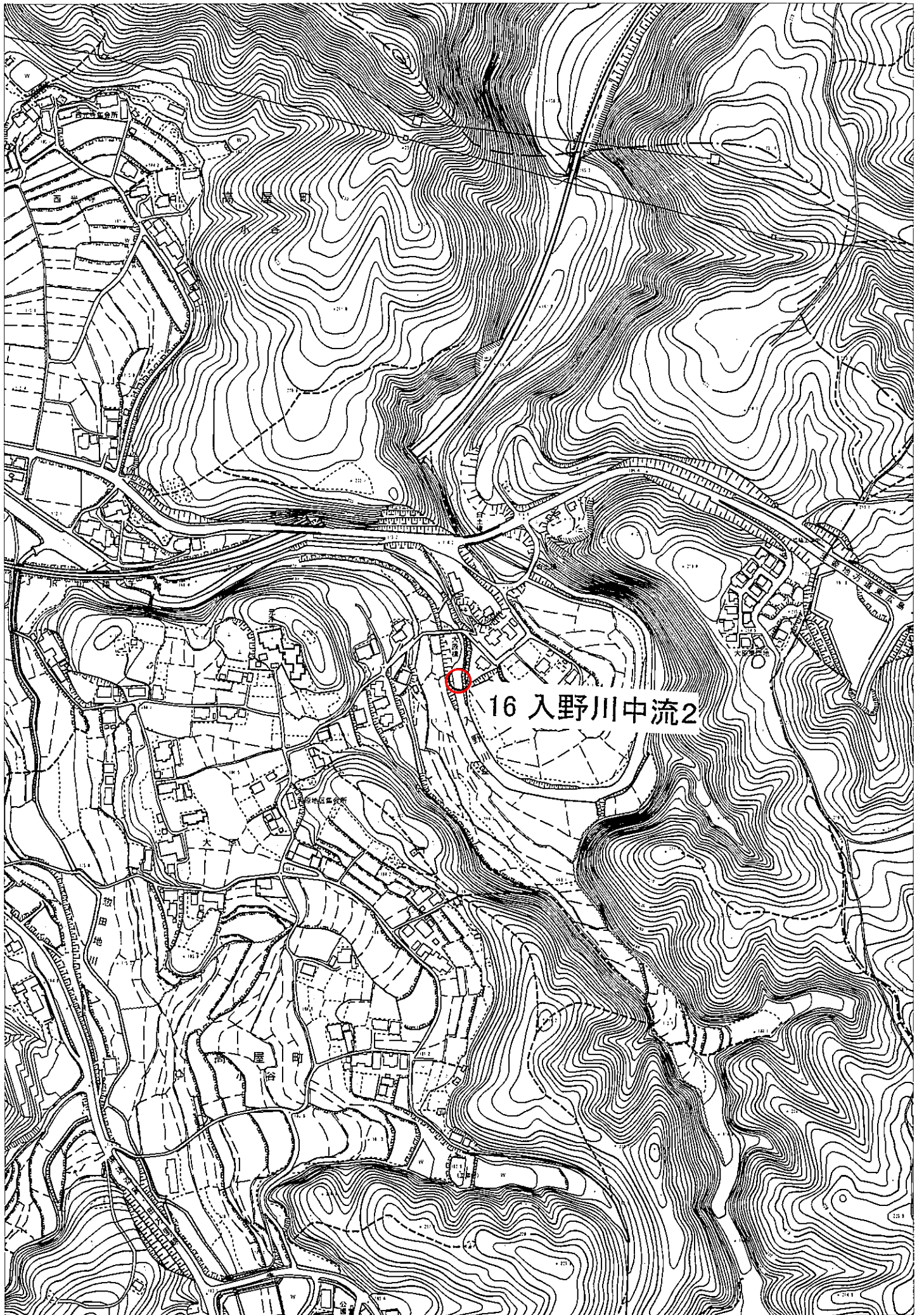
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注: この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



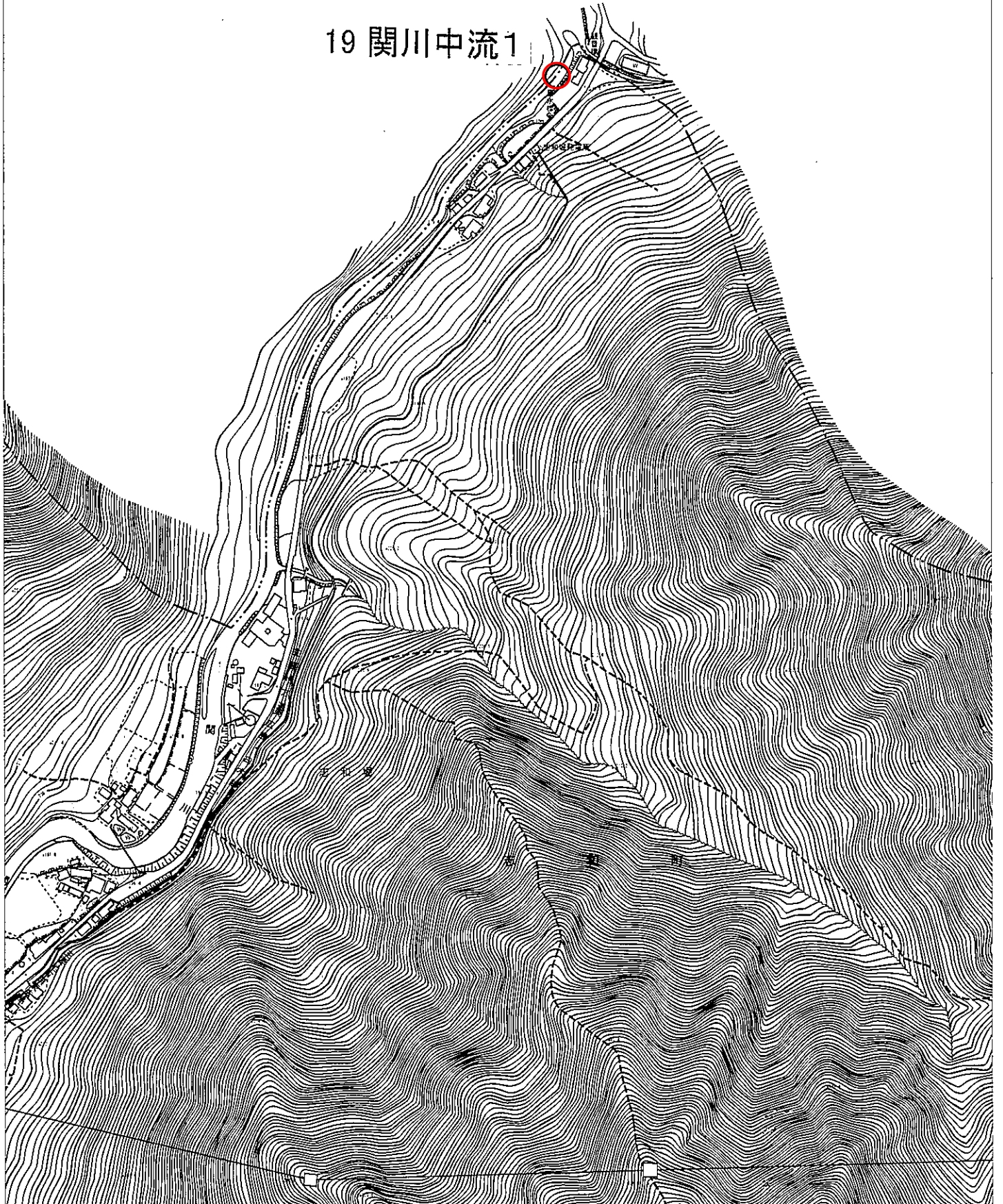
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



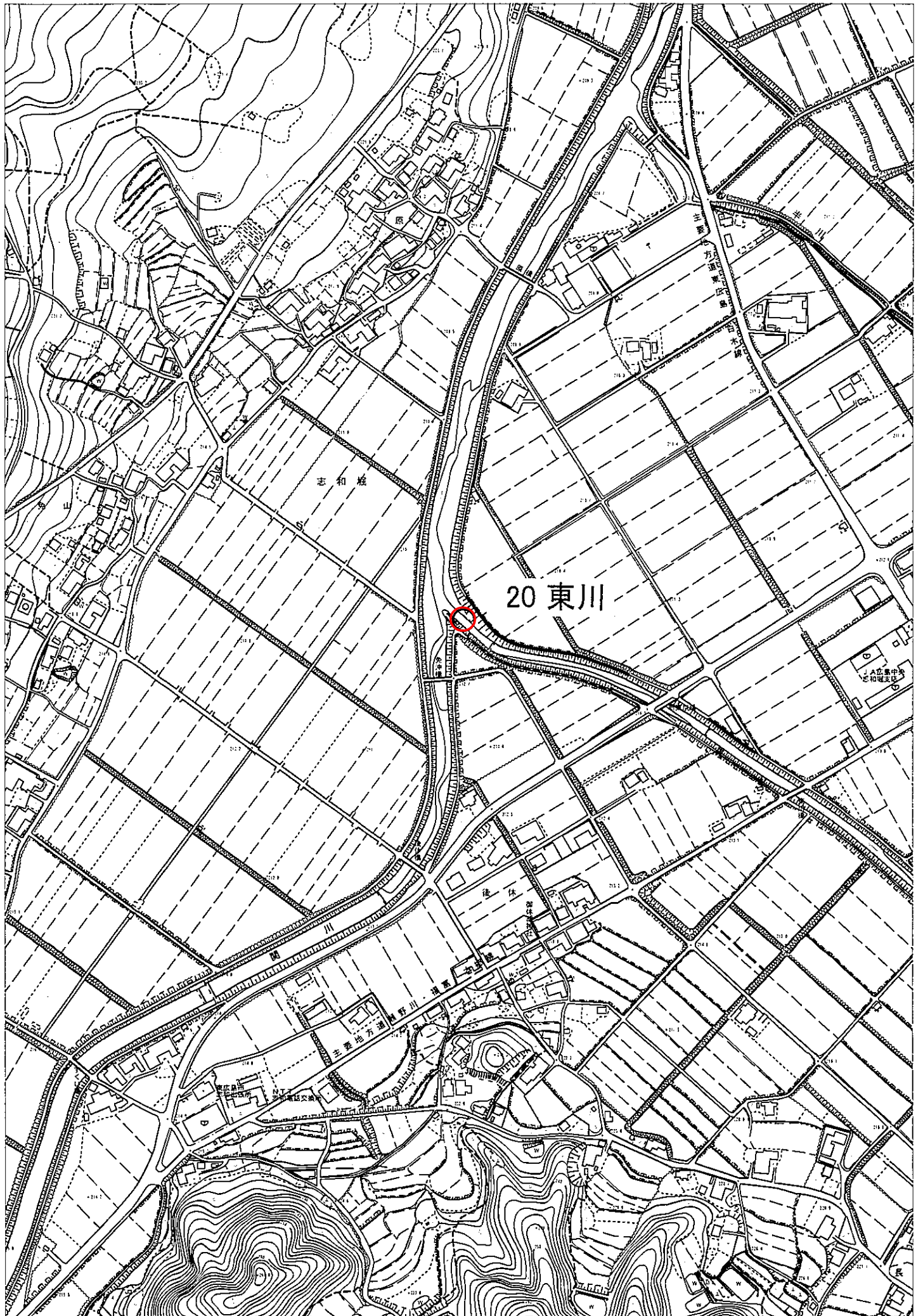
18 沼田川中流

注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。

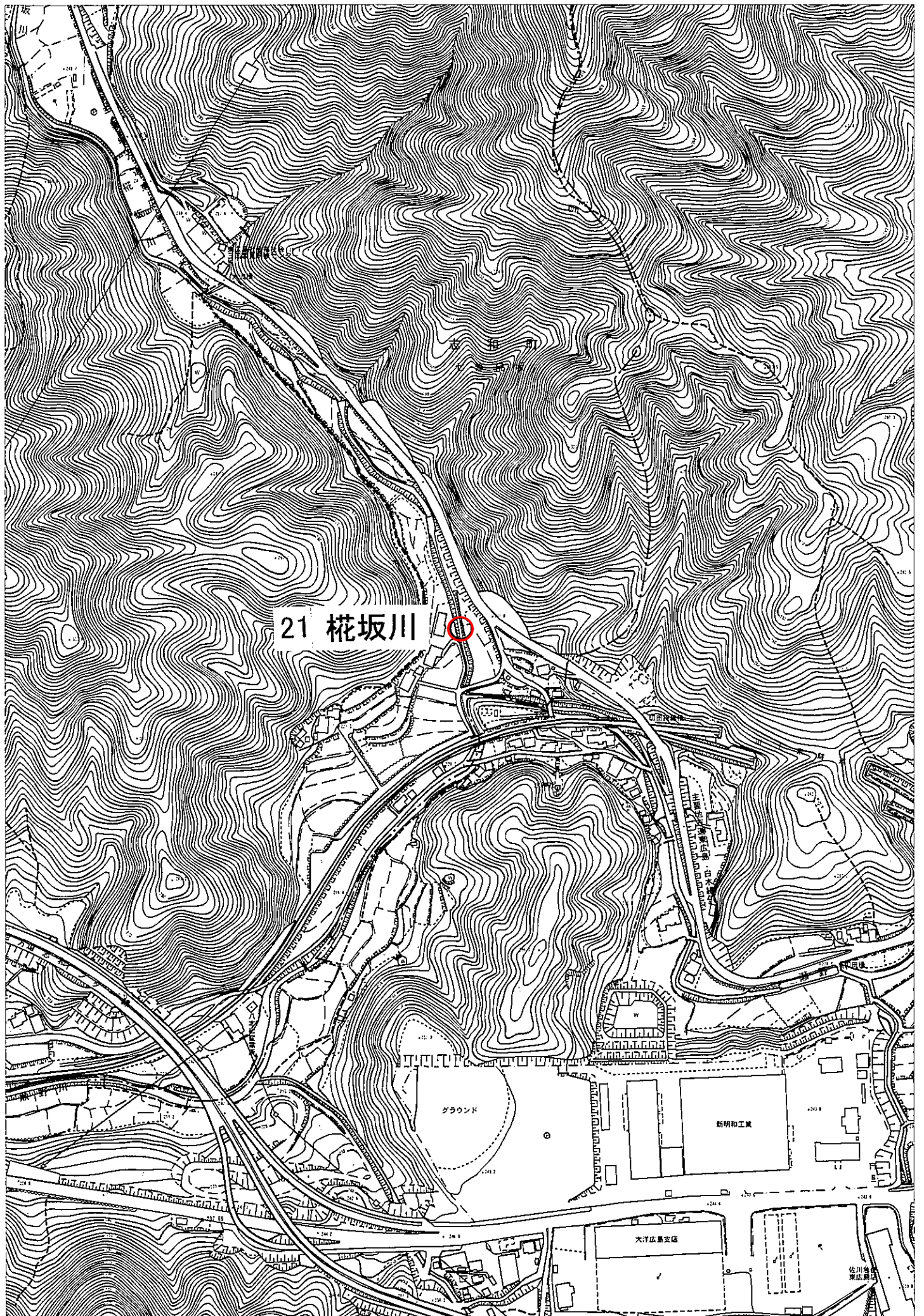
19 関川中流1



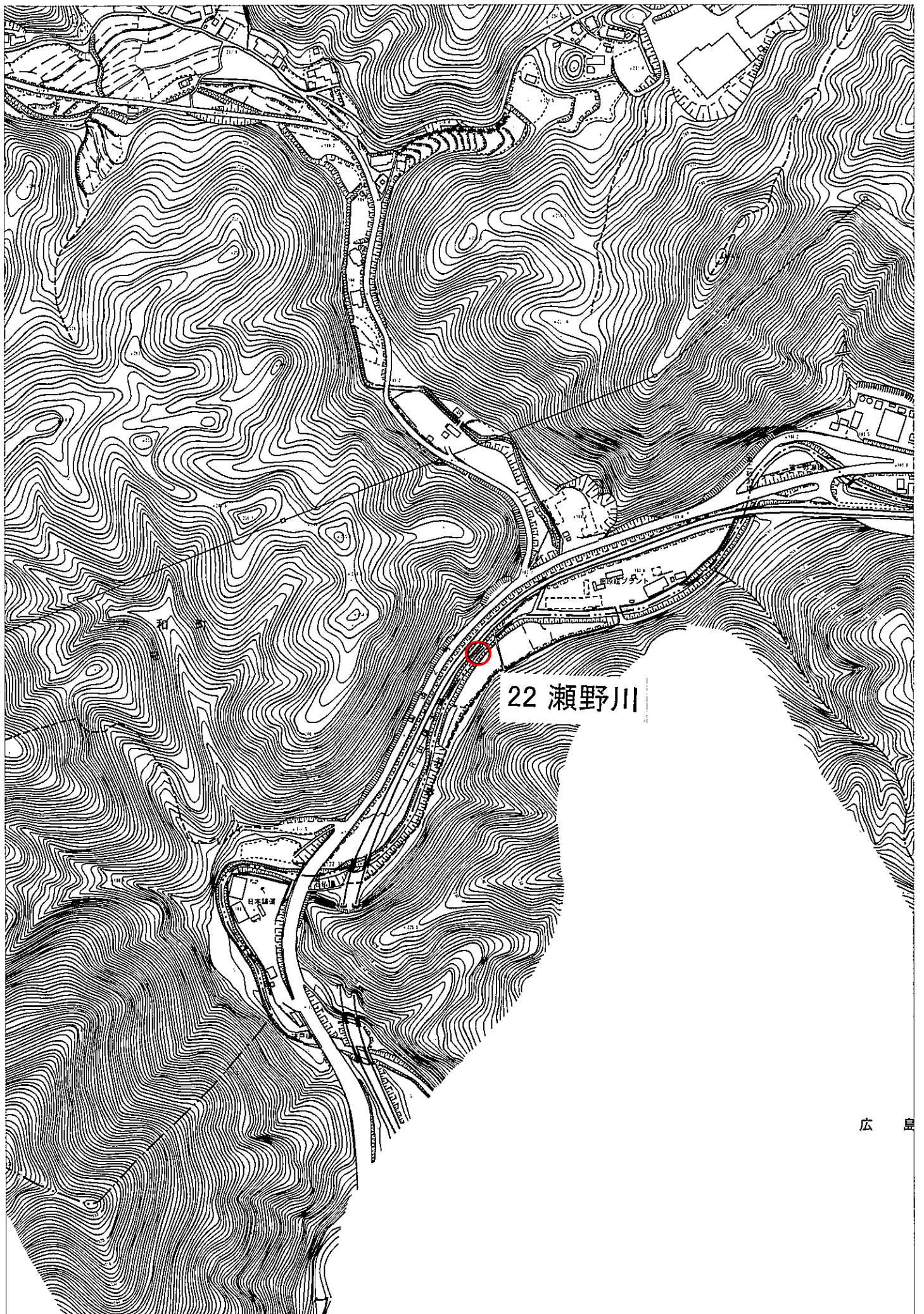
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いは十分注意して下さい。



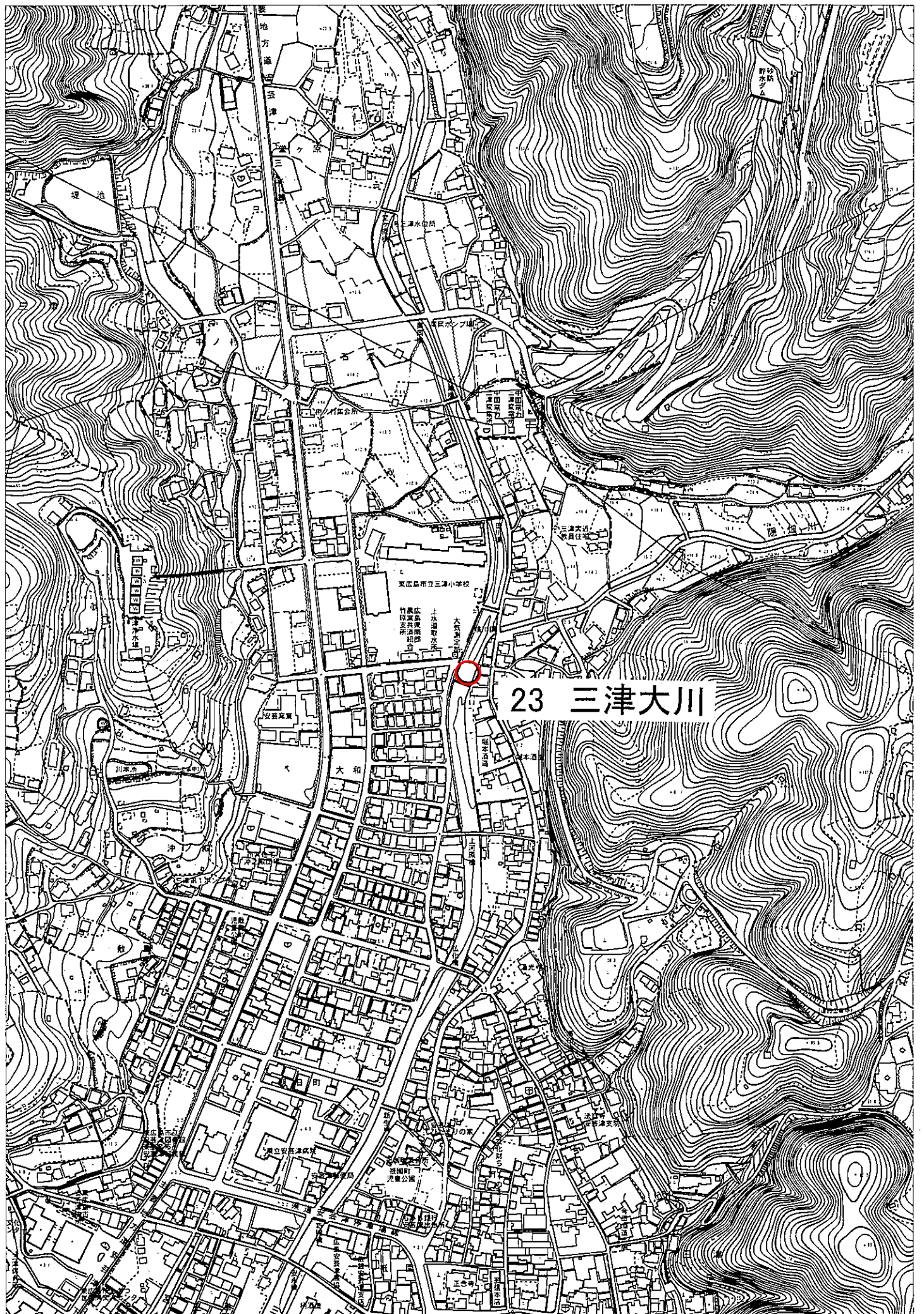
注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



22 瀬野川

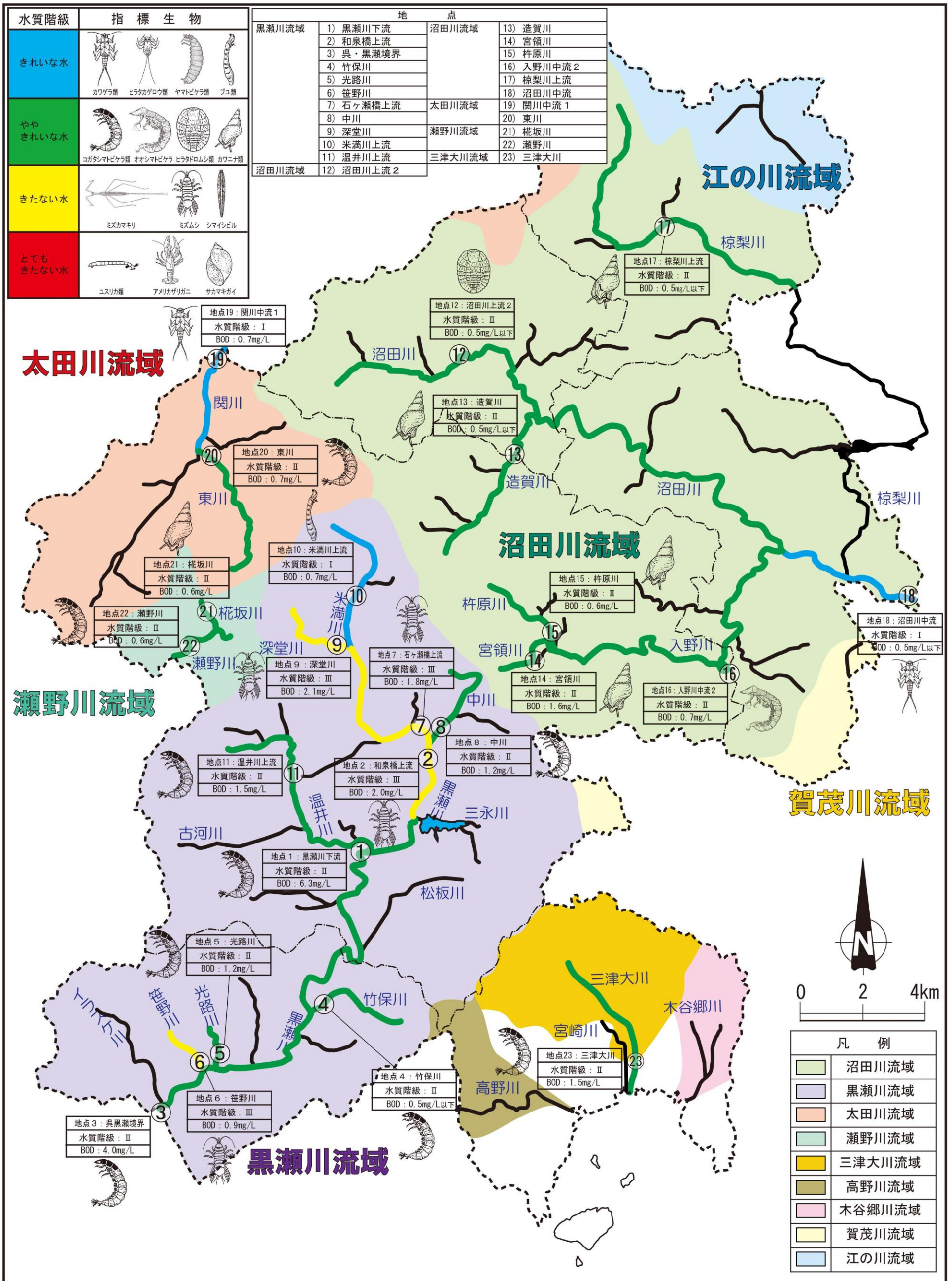
広島

注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。



注:この図は単なる画像です。取り扱いには十分注意して下さい。

別紙 2 東広島市水質汚濁地図例



底生生物による東広島市水質汚濁地図

別紙 3 調査結果集計表例

3.4 各地点の調査結果詳細

各地点での底生生物及び付着藻類の調査結果の詳細を以下に地点ごとに整理した。

| | | | | |
|---|---|--|---|---------------------|
| 調査地点 | 1) 黒瀬川下流 | 調査日 | R1. 11. 8 | |
| ■調査地点の状況 | | | | |
| 黒瀬川本流の取水堰直下の早瀬でテウ科やツヨシが生育、周辺は山林と農耕地で民家が点在。 | | | | |
| 水温 (°C) | 15.7 |  | | |
| 川幅 (m) | 15 | | | |
| 生物採取場所 | 川を中心 | | | |
| 生物採取場所の水深 (cm) | 15 | | | |
| 流速 | はやい | | | |
| 川底の状態 | こぶし大の石まじり砂 | | | |
| 岸辺の状態 | 右岸：擬岩ブロック護岸 左岸：コンクリート護岸 | | | |
| ■底生生物調査結果 | | | | |
| 指標生物は、コガタシマトビケラ類とミズムシが多かった。水質判定結果は、水質階級Ⅱの“ややきれいな水”であった。その他にオイカワ、カリヌマエビ属、シロタニガワカゲロウ、ニホンスッポンなどが確認された。 | | | | |
| 確認された 指標生物 | 水質階級Ⅰ | — | 指標生物 による 水質判定 結果 | 水質階級Ⅱ |
| | 水質階級Ⅱ | コガタシマトビケラ類 (多い) | | ややきれいな水 |
| | 水質階級Ⅲ | ミズムシ (多い) | | |
| | 水質階級Ⅳ | アメリカザリガニ | | |
| 確認された その他の水 生動物 | 魚類 | オイカワ、ドンコ、カヨシノボリ | | |
| | 貝類・甲殻類 | カリヌマエビ属 | | |
| | 水生昆虫類 | シロタニガワカゲロウ、アオモイトトンボ属、ハゲトンボ、シカヲトンボ、ウラマシマトビケラ | | |
| | その他 | イビビル科、ニホンスッポン | | |
| (注) 青字：希少種 (RDB 種)、赤字：外来種 | | | | |
|  |  |  |  | |
| コガタシマトビケラ類 | ミズムシ | オイカワ | ニホンスッポン | |
| ■付着藻類調査結果 | | | | |
| 付着藻類は、広適応性種の <i>Entophysalis lemaniae</i> (エントフィサリス) が多かった。水質判定結果は、β中腐水性 (βm) の“きたない水”であった。 | | | | |
| 主要出現種 | <i>Entophysalis lemaniae</i> (エントフィサリス) |  | DAIpo による水質判定結果 | β中腐水性 (βm) きたない水 |
| ■気づきなど | | | | |
| イソシギを確認 | | | | |

別紙 4 日本版平均スコア法の野帳

| | |
|-------|------|
| 自治体名: | 河川名: |
|-------|------|

| | 【記入例】 | No. 1 | No. 2 | 備考 |
|------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 調査場所 | ×××橋下流 | | | |
| 緯度、経度 | N35 度 30.00 分 E135 度 20.00 分 | | | |
| 年月日 (時刻) | 平成 25 年 5 月 5 日 09:00~12:00 | | | |
| 天候 | 晴のち曇 | | | |
| 水温(°C) 測定時刻 | 16.5°C 10 時 10 分 | | | |
| 川幅(m) | 5.5m | | | |
| 生物を採取 した場所 | 早瀬(平瀬)・淵・ その他() | 早瀬・平瀬・淵・ その他() | 早瀬・平瀬・淵・ その他() | 該当するものに ○ |
| 生物採取場所 の水深(m) | 0.3m | | | |
| 流れの速さ (m/秒) | 0.5m/秒 (もしくは 5m/10 秒) | | | |
| 川底の状態 | 浮き石(1層)・2層)・ はまり石・砂利・ その他() | 浮き石(1層)・2層)・ はまり石・砂利・ その他() | 浮き石(1層)・2層)・ はまり石・砂利・ その他() | 該当するものに ○ |
| 水のごり、 におい、その他 | 濁りなし、においなし | | | |
| 魚、水草、鳥、 その他の生物 | カワムツ、セキレイ | | | 確認種があれば 記載 |
| 簡易水質測定 結果 (項目:) | pH: 7.2 | | | 簡易水質測定を 実施した場合に 記載 |
| 簡易水質測定 結果 (項目:) | COD: 0.5 mg/l | | | |

その他気がついたこと

(普段の様子と違う点、人の利用状況、過去数日の降雨状況など)

水生生物を用いた水質評価手法 野帳 2 / 2

| 調査場所 | | | 年月日(時刻) | | | | | | | |
|-------------|-------------------|-------------------|---------|------|-----------|-------------------|-----------------|--------------|------|--|
| 分類群名 | | | スコア値 | 出現状況 | 分類群名 | | | スコア値 | 出現状況 | |
| カゲロウ目 | フタオカゲロウ科 | Siphonuridae | 8 | | チョウ目 | ツトガ科 | Crambidae | 7 | | |
| | ガガンボカゲロウ科 | Dipteromimidae | 10 | | コウチュウ目 | ゲンゴロウ科 | Dytiscidae | 5 | | |
| | ヒメフタオカゲロウ科 | Ameletidae | 8 | | | ミズスマシ科 | Gyrinidae | 8 | | |
| | チラカゲロウ科 | Isonychiidae | 8 | | | ガムシ科 | Hydrophilidae | 4 | | |
| | ヒラタカゲロウ科 | Heptageniidae | 9 | | | ヒラタドROMシ科 | Psephenidae | 8 | | |
| | コカゲロウ科 | Baetidae | 6 | | | ドROMシ科 | Dryopidae | 8 | | |
| | トビロカゲロウ科 | Leptophlebiidae | 9 | | | ヒメドROMシ科 | Elmidae | 8 | | |
| | マダラカゲロウ科 | Ephemerellidae | 8 | | | ホタル科 | Lampyridae | 6 | | |
| | ヒメシロカゲロウ科 | Caenidae | 7 | | | ガガンボ科 | Tipulidae | 8 | | |
| | カワカゲロウ科 | Potamanthidae | 8 | | | アミカ科 | Blephariceridae | 10 | | |
| | モンカゲロウ科 | Ephemeridae | 8 | | | チョウバエ科 | Psychodidae | 1 | | |
| | シロイロカゲロウ科 | Polymitarcyidae | 8 | | ブユ科 | Simuliidae | 7 | | | |
| | トンボ目カワトンボ科 | Calopterygidae | 6 | | ハエ目 | ユスリカ科(ユスリカ族:腹鰓あり) | Chironomidae | 2 | | |
| | ムカシトンボ科 | Epiophlebiidae | 9 | | | ユスリカ科(その他:腹鰓なし) | Chironomidae | 6 | | |
| | サナエトンボ科 | Gomphidae | 7 | | | ヌカカ科 | Ceratopogonidae | 7 | | |
| オニヤンマ科 | Cordulegasteridae | 3 | | アブ科 | | Tabanidae | 6 | | | |
| カワゲラ目 | オナシカワゲラ科 | Nemouridae | 6 | | ナガラアブ科 | Athericidae | 8 | | | |
| | アミメカワゲラ科 | Perlodidae | 9 | | ウズムシ目 | サンカクアタマウズムシ科 | Dugesidae | 7 | | |
| | カワゲラ科 | Perlidae | 9 | | ニナ目 | カワニナ科 | Pleuroceridae | 8 | | |
| | ミドリカワゲラ科 | Chloroperidae | 9 | | モノアラガイ目 | モノアラガイ科 | Lymnaeidae | 3 | | |
| カメムシ目 | ナベブタムシ科 | Aphelocheiridae | 7 | | | サカマキガイ科 | Physidae | 1 | | |
| アミメカゲロウ目 | ヘビトンボ科 | Corydalidae | 9 | | | ヒラマキガイ科 | Planorbidae | 2 | | |
| トビケラ目 | ヒゲナガカワトビケラ科 | Stenopsychidae | 9 | | モノアラガイ目 | カワコザラガイ科 | Ancylidae | 2 | | |
| | カワトビケラ科 | Philopotamidae | 9 | | | ハマグリ目 | シジミガイ科 | Corbiculidae | 3 | |
| | クダトビケラ科 | Psychomyiidae | 8 | | | ミミズ綱 | ミミズ綱(エラミミズ) | Oligochaeta | 1 | |
| | イワトビケラ科 | Polycentropodidae | 9 | | ミミズ綱(その他) | | Oligochaeta | 4 | | |
| | シマトビケラ科 | Hydropsychidae | 7 | | ヒル綱 | ヒル綱 | Hirudinea | 2 | | |
| | ナガレトビケラ科 | Rhyacophilidae | 9 | | ヨコエビ目 | ヨコエビ科 | Gammaridae | 8 | | |
| | カワリナガレトビケラ科 | Hydrobiosidae | 9 | | | キタヨコエビ科 | Anisogammaridae | 8 | | |
| | ヤマトビケラ科 | Glossosomatidae | 9 | | | アゴナガヨコエビ科 | Pontogeneiidae | 8 | | |
| | ヒメトビケラ科 | Hydroptilidae | 4 | | ワラジムシ目 | ミズムシ科 | Asellidae | 2 | | |
| | カクスイトビケラ科 | Brachycentridae | 10 | | エビ目 | サワガニ科 | Potamidae | 8 | | |
| | エグリトビケラ科 | Limnephilidae | 8 | | スコア法による集計 | | | | | |
| | コエグリトビケラ科 | Apataniidae | 9 | | 集計結果 | 出現科数 | | | | |
| | クロツツトビケラ科 | Uenoidae | 10 | | | 総スコア値(TS 値) | | | | |
| | ニンギョウトビケラ科 | Goeridae | 7 | | | 平均スコア値(ASPT 値) | | | | |
| | カクツツトビケラ科 | Lepidostomatidae | 9 | | | | | | | |
| ケトビケラ科 | Sericostomatidae | 9 | | | | | | | | |
| ヒゲナガトビケラ科 | Leptoceridae | 8 | | | | | | | | |
| その他の生物の出現状況 | | | | | | | | | | |